

町無形文化財 松田大名行列について



質問者
内田 晃 議員

松田町の伝統芸能である松田大名行列は松田町のシンボルであり、明治の後期から現在まで100年以上受け継がれており、観光まつりの花形として町内外の方々の目を楽しませております。

そこで次の3点についてご質問させて頂きます。
(1) 町の無形文化財にした経緯並びに歴史について、どのように認識されているか。
(2) 大名行列を継承していくために、町補助金と町民からの会費により運営しているが、町としての支援の考えはあるか。
(3) 過去県内外の自治体からの出演依頼を受け参加しているが、今後それらの自治体との産業、文化等の交流をしていく考えはあるか。



まつだ桜まつり会場にて

A

産業・文化・スポーツなどの交流を推進

回答（教育長）



(1) 松田大名行列は、明治の初期に小田原藩より受け継がれ、現在までしっかりと守られている。町にとつて重要な文化財であると認識し、昭和46年に町無形文化財に指定したことで、後世まで残していかなければと考えて

いる。
(2) 保存会の活動については、町補助金と町民の皆様からの会費によって成り立っている。近年、町民から会費を徴収することが難しくなっていることも承知している。今後可能な限り補助金を維持していく。

(3) 過去には北海道「美幌町」「山形県「河北町」「東京「品川区」等数多くの自治体から招待され、大名行列を通しての交流を図っている。今後もうつした自治体と産業・文化・スポーツなどの交流を推進していきたい。

農業振興について



質問者
古谷 星工人 議員

農業の最重要課題は、従事者の高齢化、担い手不足、有害鳥獣被害、ヤマビル被害など様々な要

因によって農業を取り巻く環境は厳しくなるばかりで、課題も山積しています。

(1) 耕作放棄地は、本年度の調査結果によると51・3ヘクタールで年々増加している。農地を貸し出したい農業者が増加傾向、借りた方は少ない現状である。本年度新たに「耕作放棄地解消対策事業補助金」を予算化

A

荒廃地対策を推進

回答（町長）



(1) 耕作放棄地について最新の耕作放棄地の筆数、面積、解消に向けた取り組みはどうか。
(2) 有害鳥獣対策について被害の状況、対策、今後の取り組みはどうか。
(3) 茶の振興策について茶園減少を抑えるための施策、取り組みはどうか。

したので周知する。
(2) 被害届の集計では平成30年度の状況は21件、580万円となっている。実際はもっと被害があるものと考えている。被害も住宅地にまで広がっている。関係機関と連携を強化し、ジビエの普及促進にも取り組んでいながら有害鳥獣対策を進める。
(3) 基幹産業であり、地域農業の活性化には欠かせないものになっている。茶園面積は最盛期から半減して、現在は13ヘクタールになっている。国の補助事業等活用について国県と体制づくりを進めていきたい。



虫沢地区荒廃農地